

令和6年度全国学力・学習状況調査

呉市教育委員会
学 校 教 育 課

○実 施 日 令和6年4月18日（木）

○対象及び教科 小学校（義務教育学校前期課程を含む。）第6学年全児童 国語，算数
中学校（義務教育学校後期課程を含む。）第3学年全生徒 国語，数学

○教科に関する調査の結果（平均正答率（％））

校 種	教 科	呉 市	全 国	広島県
小学校	国 語	72	67.7	69
	算 数	66	63.4	64
中学校	国 語	58	58.1	58
	数 学	51	52.5	52

※県及び市の平均正答率については，小数点以下は公表されていない。

【国 語】 小学校国語は全国平均を上回り，中学校国語は全国平均と同程度である。

【算数・数学】 小学校算数は全国平均を上回り，中学校数学は全国平均を下回っている。

国 語

1 呉市と全国平均・県平均

【小学校（義務教育学校前期課程を含む。） 第6学年】

分類	区分		呉 市	全国との比較	全 国	広島県
学習指導要領の 内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	6 7 . 9	+ 3 . 5	6 4 . 4	6 5 . 9
		情報の扱い方に関する事項	9 0 . 0	+ 3 . 1	8 6 . 9	8 8 . 0
		我が国の言語文化に関する事項	8 0 . 1	+ 5 . 5	7 4 . 6	7 6 . 3
	思考力, 判断力, 表現力等	話すこと・聞くこと	6 2 . 8	+ 3 . 0	5 9 . 8	6 1 . 3
		書くこと	7 3 . 3	+ 4 . 9	6 8 . 4	7 0 . 5
		読むこと	7 7 . 0	+ 6 . 3	7 0 . 7	7 2 . 6
問題形式	選択式		7 3 . 1	+ 3 . 2	6 9 . 9	7 1 . 2
	短答式		6 3 . 7	+ 4 . 0	5 9 . 7	6 1 . 4
	記述式		7 4 . 6	+ 1 0 . 0	6 4 . 6	6 7 . 8

【中学校（義務教育学校後期課程を含む。） 第3学年】

分類	区分		呉 市	全国との比較	全 国	広島県
学習指導要領の 内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	5 7 . 6	－ 1 . 6	5 9 . 2	5 8 . 0
		情報の扱い方に関する事項	5 9 . 5	－ 0 . 1	5 9 . 6	5 9 . 2
		我が国の言語文化に関する事項	7 7 . 8	＋ 2 . 2	7 5 . 6	7 7 . 8
	思考力, 判断力, 表現力等	話すこと・聞くこと	5 9 . 8	＋ 1 . 0	5 8 . 8	5 9 . 4
		書くこと	6 5 . 4	＋ 0 . 1	6 5 . 3	6 6 . 1
		読むこと	4 6 . 9	－ 1 . 0	4 7 . 9	4 7 . 5
問題形式	選択式		5 9 . 9	－ 1 . 1	6 1 . 0	6 0 . 4
	短答式		6 3 . 2	＋ 1 . 4	6 1 . 8	6 2 . 0
	記述式		4 6 . 2	＋ 0 . 7	4 5 . 5	4 7 . 1

2 呉市の分析結果及び課題改善のための方策 【 】内は内容 （ ）内は問題形式

	全国と比較して、正答率の高かった主な設問等	全国と比較して、正答率の低かった主な設問等	課題改善のための方策
小学校 第6学年	○目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 【書くこと（記述式）】 ○人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする。 【読むこと（記述式）】	※該当する設問なし。ただし、呉市として課題と思われる設問を取り挙げる。 ●文の中における主語と述語との関係を捉える。 【言葉の特徴や使い方に関する事項（選択式）】	◇主語と述語の関係について、「読むこと」や「書くこと」の指導事項などと関連を図りながら、日常的に主語が何かを意識して文章を読んだり書いたりする場を設定する。 【言葉の特徴や使い方に関する事項】
中学校 第3学年	○資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話す。 【話すこと・聞くこと（短答式）】 ○表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。 【書くこと（記述式）】	●目的に応じて必要な情報に着目して要約する。 【読むこと（記述式）】 ●表現の技法について理解する。 【言葉の特徴や使い方に関する事項（選択式）】	◇文章を読み取る際に、筆者の主張とそれを支える根拠や具体的事例、重要な語句等について、抜き出したり、図式化したり、まとめたりする場を設定する。 【読むこと】 ◇表現技法の名称とともに、その意味や用法を理解した上で表現し、交流する場を設定する。 【言葉の特徴や使い方に関する事項】

算数・数学

1 呉市と全国平均・県平均

【小学校（義務教育学校前期課程を含む。） 第6学年】

分類	区分	呉市	全国との比較	全国	広島県
学習指導要領 の領域	数と計算	69.5	+3.5	66.0	66.6
	図形	67.9	+1.6	66.3	67.5
	変化と関係	52.0	+0.3	51.7	50.8
	データの活用	65.5	+3.7	61.8	63.0
問題形式	選択式	77.7	+2.4	75.3	75.7
	短答式	64.5	+2.5	62.0	62.2
	記述式	53.6	+2.6	51.0	52.3

【中学校（義務教育学校後期課程を含む。） 第3学年】

分類	区分	呉市	全国との比較	全国	広島県
学習指導要領 の領域	数と式	49.7	-1.4	51.1	49.4
	図形	37.9	-2.4	40.3	39.3
	関数	59.8	-0.9	60.7	60.1
	データの活用	55.0	-0.5	55.5	55.0
問題形式	選択式	57.9	-0.6	58.5	57.7
	短答式	64.7	-2.3	67.0	65.4
	記述式	28.6	-0.7	29.3	28.8

2 呉市の分析結果及び課題改善のための方策 【 】内は領域 ()内は問題形式

	全国と比較して、 正答率の高かった主な設問等	全国と比較して、 正答率の低かった主な設問等	課題改善のための方策
小学校 第6学年	○問題場面の数量の関係を捉え、 式に表す。 【数と計算（選択式）】 ○除数が小数である場合の除法の 計算をする。 【数と計算（短答式）】	●速さが一定であることを基に、 道のりと時間の関係について考 察する。 【変化と関係（短答式）】	◇速さが一定である場合につい て、道のりと時間が比例関係に あることや、1分間当たりに進 む道のりを基にかかる時間を求 めるなど、道のりと時間と速さ の関係をを用いて説明する場を設 定する。また、問題場面に戻っ て、求めた時間が妥当かどうか を判断する場を設定する。 【変化と関係】
中学校 第3学年	○複数の集団のデータの分布か ら、四分位範囲を比較する。 【データの活用（選択式）】 ○統合的・発展的に考え、成り立つ 事柄を見いだし、数学的な表現 を用いて説明する。 【数と式（記述式）】	●与えられたデータから最頻値を 求める。 【データの活用（短答式）】 ●等式を目的に応じて変形する。 【数と式（短答式）】	◇データの活用領域だけでなく、 総合的な学習の時間や特別活動 の時間でアンケート調査等を行 う際に、平均値だけでなく他の 代表値を取扱い、どの代表値が データの特徴としてふさわしい か吟味する場を設定する。 【データの活用】 ◇方程式を解いたり、二元一次方 程式を関数関係を表す式とみて 考察したりする際に、改めて等 式を変形するための根拠を説明 する場を設定する。 【数と式】【関数】